

Dual KOTO×KOTO

デュアル コトコト

箏デュオ

山野 安珠美 やまの あずみ 山口県出身 東京都在住
梶ヶ野 亜生 かじがの あい 鹿児島県出身 鹿児島県在住

【所属マネジメント】株式会社プレルーディオ

住所：〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 1-16-6

昭和音楽大学北校舎内

TEL：044-953-2105 FAX：044-955-5724

担当：森 恭子 E-mail：mori@preludio.co.jp



やってみたいアクティビティとコンサート

★広がる 13 本の世界！

箏（こと）の絃は 13 本。その可能性は無限大。すきなところへ琴柱を置けば、世界に一つだけの調弦が生まれ、絃を押したり引いたり擦ったり叩いたり！スプーンやグラス、たわしも使って！と奏法も様々。箏に向かえば奏者にも発明家にも！？

★おことマジック！

まっすぐ指をひっぱるだけで〈かえるの歌〉や〈きらきら星〉が♪
 左手で絃を押すと…しおれた〈チューリップ〉がきれいに咲きます♪
 のびてる音（余韻）だって変幻自在。箏の魅力とは♪

★音はどこから！

箏の裏には音穴二つ。覗いて見ると美しく、響く工夫がされています。
 寝っ転がって、身体のあちこちで、聴いて体感！

★時空を超えて！

一音の響きに、目を瞑れば江戸時代。はたまた躍動感溢れる音のパレード。「古典」は、イメージ通り雅びにも、まさかのロックにも、聴こえます♪

★地域推し活！

私たちの地元仙巖園や秋吉台でのコンサートには、遠方からのお客様も。アウトリーチ先では地域密着作品づくりを。箏を通じて、ひととまちとが繋がってゆくことも、私たちの楽しみです。

自己 PR

呼吸と間から成る箏の音楽。そこには「日本」と、創造の世界が広がります。空間を漂う響きは、聴衆の呼吸と相まって、次の音を導きます。奏者の「楽しい面白い」と、聴衆のワクワクとで積み重ねられた箏の歴史、その音楽は、形を変えながらも根っこはずっと同じ。そんな箏が運んでくれた出会いは宝物で、世界を旅する私たちが感じるのは、音楽は年齢や性別、国籍を超えるコミュニケーションツール。いまをいきる伝統楽器の姿、進化し続ける音楽、未来に繋がるこの瞬間を皆様と共有し、新たな 1 ページを創っていきたくと考えています。

PROFILE

梶ヶ野亜生、山野安珠美による箏デュオ。沢井忠夫、沢井一恵氏に師事。出会いは 30 年前。大学卒業後は内弟子修行を共にし、ソリストとしても国内外問わず公演を行う。並行して参加ユニット、録音、舞台音楽制作、TV・ラジオ出演、教授活動等、様々な音楽活動を展開。伝統楽器である「箏」の枠を超えた音楽を届ける。

現代邦楽、オリジナル、古典、クラシック、ポップス、即興などのレパートリーに加え、アウトリーチでは校歌や子供たちとのコラボレーション、コンサートでは地域取材し創作活動など、箏を通じてうまれる出会い、発見、冒険をテーマに構成。

共演は邦楽器以外にも、ヴァイオリン、チェロ、コントラバス、フルート、オーボエ、打楽器、ピアノ、歌、オーケストラ、電子楽器、民族楽器、ダンス、朗読、芝居など。

梶ヶ野 亜生（かじがの あい）

国際交流基金主催南アジアツアー、アメリカ APAP 派遣など現在海外 23 カ国にて公演。「題名のない音楽会」等の TV・ラジオ出演、大河ドラマ等録音参加。NHK 邦楽技能者育成会第 43 期卒業。平成 12 年度文化庁芸術インターンシップ研修員生。平成 14 年「第 26 回鹿児島市春の新人賞」「第 4 回かざん財団賞」「平成 30 年度鹿児島県芸術文化奨励賞」受賞。鹿児島国際大学国際学部音楽学科、熊本大学教育学部音楽科非常勤講師。

山野 安珠美（やまの あずみ）

山口県芸術文化振興奨励賞、エネルギー音楽賞等受賞。NHK 邦楽技能者育成会、文化庁新進芸術家国内研修員を経て、ロシアでのオーケストラとの共演、文化庁・国際交流基金の派遣による演奏ツアー、アンコールワット等世界遺産での演奏など、海外公演は凡そ 40 カ国。国内においても、ジャンルの異なる演奏家との共演、「題名のない音楽会」「美の壺」等 TV・ラジオ出演、新作歌舞伎やフラメンコ等舞台音楽、CD 録音への多数参加など、幅広い音楽活動を展開。沢井箏曲院師範。